

都立世田谷総合高校 令和3年度 年間授業計画

教科・科目(単位数)	公民・現代社会(2単位)
対象年次	1年次
使用教科書	最新現代社会(実教出版)
使用副教材	ライブ！現代社会(帝国書院)
科目担当	

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数		
1 学期	4 月	第1部 わたしたちの生きる社会 第1章 地球環境問題 第2章 資源・エネルギー問題 第3章 生命科学と情報技術の課題	・現代社会に対する関心、特に環境・生命・情報の問題についての関心を高め考察する。	【観点】 現代の民主政治について、基本的な事柄に関心を持ち、意欲的に考察できるか。 【方法】 定期考査、ノート等の提出物、小テスト、授業への参加態度などから総合的に判断し、5段階で評価する。	2		
		第2部 現代の社会と人間 2 現代社会の民主政治と日本国憲法 第1章 現代国家と民主政治 1 民主政治の基本原則 2 法の支配 3 民主政治のしくみ 4 世界のおもな政治制度	・民主政治の基本原則は、市民革命を経て歴史的に獲得されたことを理解する。 ・社会契約説の内容を理解する。 ・法の支配と人の支配の違いを理解する。 ・権力分立制などについて理解する。		2		
		第2章 日本国憲法の基本的性格 (1)日本国憲法の制定	・日本国憲法の成立過程をふまえ、天皇の地位と役割などについて理解する。		2		
		(2)自由権 (3)平等権 (4)社会権・参政権・請求権	・精神の自由、人身の自由、経済活動の自由を判例を通じて理解する ・法の下での平等を判例を通じて理解する ・生存権、教育を受ける権利、労働基本権、参政権、請求権を判例等の具体的な事例を踏まえて理解する。		2		
1 学期	5 月	定期考査 I			1		
		(5)平和主義	・わが国の平和主義について、第9条に言及して説明できる。		2		
		1 学期	6 月		第3章 日本の政治機構と政治参加 (1)国会	・国権の最高機関・唯一の立法機関としての国会の構成や権限などについて理解する。	2
					(2)内閣	・議院内閣制のしくみを理解し、内閣は国会の信任に基づき成立していることを理解する。	2
					(3)裁判所	・司法権の独立など、司法制度の基本的な仕組みを理解すると共に、裁判員制度などの制度についても理解を深める。	
(4)地方自治	・地方自治の意義を考えさせ、現代の地方自治がかかえる課題等について理解する。						
1 学期	7 月	定期考査 II			1		
		3 現代の経済社会と国民生活 (1)現代社会の変容	・現代の経済社会の諸課題に対する意識を高めさせ、経済社会のあり方について考える		2		
		(2)市場	・市場メカニズムについて、需要供給曲線を活用しながら理解する。	2			
2 学期	9 月	(3)企業	・現代の企業のあり方やその特徴について理解を深めるとともに、企業の社会的責任についても考える。	2			
		(4)国民所得	・GDPなどの概念について理解する。	2			
		(5)経済成長	・経済成長率などの数値を用いながら、景気循環の仕組みなどを理解する。	2			

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
2 学期	1 0 月	(6) 金融	・金融の仕組及び金融政策について理解させ、通貨供給量との関連を説明できる。	【観点】 現代の政治、社会、国際関係にかかわる基本的な事柄に関心を持ち、意欲的に考察できるか。適切に資料等を活用し、基本的知識を習得できているか。 【方法】 定期考査、ノート等の提出物、小テスト、授業への参加態度などから総合的に判断し、5段階で評価する。	4
		(7) 財政	・資源配分、景気調整、所得再分配という財政の役割を理解し、現代の日本の財政状況を考える。		2
		日本経済の特質と国民生活 (1) 日本経済のあゆみ 定期考査Ⅲ	・戦後日本の発展過程とその背景を理解する。		2
		(2) 中小企業と農業	・日本の産業構造における中小企業や農業の役割を理解する。		2
2 学期	1 1 月	(3) 消費者問題	・悪徳商法や契約について関心を高めさせ、消費者としての立場を理解する。		2
		(4) 公害	・日本の公害について理解させ、自分に何ができかなど主体的に考える。		2
		(5) 労働問題	・終身雇用制や年功序列制などの仕組みを知り、雇用や労働問題の動向を現代の経済社会と関連させて理解する。		2
		(6) 社会保障	・社会保障制度の基本を理解し、問題点や課題を考える。		2
		定期考査Ⅳ			1
2 学期	1 2 月	1 青年期と自己の形成 第1章 自分らしく生きる (1) 青年期	・青年期の意義について広く理解させ、自己に当てはめて意欲的に考える。		2
		(2) 自己形成の課題	・青年期がアイデンティティを確立したり自己形成する重要な時期であることを自覚する。		2
		(3) 職業生活と社会参加	・将来の職業生活や社会的役割を考察する。		2
3 学期	1 月	第2章 人間として善く生きる (1) 哲学と人間	・先哲の思想や考え方を知り、人間としての生き方を考える。	4	
		(2) 宗教と人間	・日常生活と宗教との関わりについて気づく。	2	
		(3) 科学と人間	・近代ヨーロッパで生まれた科学的な考え方について理解する。		
		(4) 自由と幸福	・カントなどの思想などを通じて人間の幸福や自由について考える。		
3 学期	2 月	(5) 人間性の回復と主体性の確立	・現代の民主社会における人間としてのあり方や生き方を考える。	2	
		(6) 他者の尊重	・人間の尊厳や、自他の人格を互いに尊重することの意義を考える。	2	
		第3章 日本人としての自覚	・わが国の伝統や文化を理解し、文化の継承の大切さについて知る。	2	
		4 国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向	・第二次世界大戦後の国際政治の動向を理解させるとともに、現代の国際社会の諸問題について考察する。	2	
3 学期	3 月	第2 国際経済の動向と国際協力	・第二次世界大戦後の国際経済の動向や、現代の国際的な経済の相互依存や地域的経済統合について理解する。	2	
		定期考査Ⅴ		1	
				計	70